

禁断

門外不出の業界最高峰マニュアル

PRESIDENT

『競馬で儲ける。』

言葉で描くと極めて軽い言葉だが、
それを達成するための道のりは極めて険しい。

より高い的中率を・・・
より高い回収率を・・・
より少ない資金で・・・
より少ない点数で・・・
より大きな利益を・・・

投資法の開発とは、己の理念に従い、
これら終わりのないテーマをどこまでも
探求する作業であると言っても過言ではない。

求めるは「揺ぎ無き的中率」に変わらぬ「圧倒的な回収率」。
そして2008年。

我々【合同会社鮫久】の競馬理念は
本書『PRESIDENT』によって、
一つの完成形を迎える。

【合同会社鮫久 統括本部長】
山根 良二（やまね りょうじ）

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

はじめに

日本に『投資競馬』という概念が誕生してから幾つもの月日が流れた。当初は、単純な各馬券の出現率を元にして、オッズを取得し資金配分を組むだけだった投資競馬も、その後は、様々な方程式や新馬券の誕生などによって、短期間に目覚ましい進化を遂げていった。ここまで広く「投資競馬」というものが浸透した裏には、やはり従来 of 競馬界には存在しなかった「投資」という概念による所が大きいであろう。

投資競馬と予想競馬の根本的な違い、それは言うまでも無く投資競馬の根幹には揺るぎない「統計データ」というものが存在している事であろう。今も昔も、書店へ足を運べば様々な「競馬攻略本」を目にする事が出来るが、それらの多くは各著者の経験に基づく攻略法に他ならない。従って、そこには確固たる裏付けが存在しない。だが、投資競馬は違うのだ。圧倒的な統計母数から導き出される確率理論は、誰の目にも明白に根拠となる数字が見えてくる。

もしも競馬をギャンブルとして捉え、単純に勝ち負けの優劣を競うだけならば、そこにこのような根拠は必要ない。だが、もしも競馬を資産運用の手段、すなわち「投資」と捉えるならば、そうはいかないのだ。

例えば、これから株式を購入しようとするのに、その会社を全く調査しない人間はいないだろう。また、その投資対象が株式ではなく「不動産」や「動産」であっても、その点は変わらない。

Produced by 鮫久

禁断 門外不出の業界最高峰マニュアル PRESIDENT

これと同じように、競馬をギャンブルではなく確実な資産運用方法として捉えるならば、これらと同様に競馬においても、同じような分析をしっかりと行わなければ、最終的に勝ち続けることなど出来るはずがないのだ。そして、その分析を行う為に絶対に欠かせないモノ、それが「統計データ」に他ならない。投資競馬とは、言い換えればこの「統計データ」をいかに利用して、分析・解析を行い、投資効率を高めていくかを追求していくかという事でもある。

その為に、多くの投資家達は多角的に分析を行い、様々な角度から投資競馬を眺めることにより、その精度を高めるべく分析を行ってきた。これが・・・
今までの投資競馬の歴史である。

だが2008年2月、我々【合同会社 鮫久】は、極秘ルートにより衝撃の情報入手する。それは悪徳と呼ばれる会社も少なくない競馬情報業界において、1開催の情報料50万円という業界最高額ともいえる超高額でありながら、各業界の社長をはじめ様々なVIP達に支持され、**継続率89%**という脅威の継続率を記録するという情報のマニュアルの入手に成功したのである。

その情報の名は『**PRESIDENT (プレジデント)**』と呼ばれる3連複馬券専用情報。基本は3連複の10点買いでその的中率は配当を問わず50%強を記録、『Gレース』と呼ばれるレースにおいては、その的中率は優に90%を超えるという。

この度、我々はあるルートを元に、この信じられない偉業を達成し続ける情報『**PRESIDENT**』のマニュアルを入手した。何より驚く事が、この情報が『予想』ではなく『統計学』、つまり**投資競馬という手法を用いて馬券を選択していた**のである。そこには我々では想像しえない世界が広がっていたのだ。その片鱗をここでお見せしたいと思う。

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

第1章 何故3連複か？複勝率に隠された秘密。

我々【XXXXXX（事情により非公開）】に限らず、世に無数に存在する「投資会社」と呼ばれるところは、必ずといって良い程「統計データ」による分析を行い、投資法の開発に^{いそ}勤しんでいる。そして、その分析・解析は年を重ねる毎に複雑、且つ多様化し、各会社がより精度の高い投資法を開発すべく、日々研究を重ねている。もちろん、この本を執筆している現在も・・・である。

だが、ここにまとめさせて頂く『PRESIDENT』では、これら従来の投資法とは、統計データの分析の段階で大きく一線を画す開発手法を用いている。それが『PRESIDENT』の核となるべき、新たな統計理論『IN3（スリー）理論』である。

従来の統計学では、当然のことではあるが「1着馬」を導き出す事に重点を置いて、統計データの分析を行ってきた。なぜならば、投資対象となりうる馬券の中で、最も出現率の高い馬券が「単勝馬券」であり、その他の馬券では出現率という面で、効率的に投資を進める事が難しいとされてきたからだ。そして、投資競馬はその精度を高めるべく、様々な角度や手法によって長期間データの分析・解析を行ってきた。

しかし、ここには大きな盲点が存在しているのだ。膨大なデータを元に1着馬を導き出す、これは従来の考え方からすれば最も正当性のある考え方であろう。もちろん、その考え方自体に異論を唱えるつもりも毛頭ない。だが・・・その分析方法には大きな問題が潜んでいる。それは、こういう事である。従来の統計学では、その答え（的中馬券）を導き出すために、様々な角度からの分析を意識して試みてきた。それはオッズであったり、人気であったり、基準となりそうなモノは、全て統計データとして用いてきたと言っても過言ではないであろう。

Produced by 鮫久

禁断

門外不出の業界最高峰マニュアル

PRESIDENT

だが、そこには1つだけ大切な事実が抜け落ちていた。それは何か？そう、競馬に限らず、統計データを用いた資産運用方法に付き物である『イレギュラー』という不正波への対処である。

株でも競馬でも金融でもそうだが、何故『データ』というものをを用いて確率を算出し、投資を実践するのか？それには大きく分けて下記の2つの理由が考えられる。

- ①予想や勘では儲け続ける事が出来ない為
- ②最も効率の良い投資手法を導き出す為

この内①に関しては、わざわざ語るまでも無く本書をご覧になっている皆様ならば、身をもって理解しているであろう事なので説明を省くが、ここで問題なのは②の『最も効率の良い投資手法を導き出す為』という理由である。

確かに、株や金融などでは過去の実績や推移などを分析して戦略を練る事が、投資を成功させる事へそのまま直結すると言って良いであろう。例えば、ある出来事が発生した時に「A株」が急に上昇したとする。そして、そこに上昇した要因・理由が明確に見て取る事が出来れば、次に同じ出来事が発生したときにも、確実に「A株」は上昇するであろう。なぜならば、それら両者間には、完全な相互関係が成立しているからである。このように、分析すべきデータと、対象となるべき結果が、互いに完全な相互関係が成立している場合には、膨大な統計データを分析して直接的に『最良の結果』（競馬でいえば的中馬券）を導く手法は、極めて効率的、且つ最良の手法であると言えるであろう。だが、残念ながらこの例は、「競馬には当てはまらない」のである。

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

競馬は上記の2例に比べて決定的に異なる点が1つあるのだ。一体、それは何か？答えはデータと結果に至るまでの過程にある『不確定要素』があまりにも多い事である。

先程の例で例えると、株式であれば「A株」なら「A社」という個別の投資対象が存在している。従って、分析対象としてはあくまで「A社の株価変動」や「A社の調査動向」という様に、あくまで「A社」における個別分析を行うことが出来る。しかし、競馬はどうであろう？例えば単勝1番人気。確かに出現率は毎年35%前後と極めて安定している。従って、投資対象として選択するには十分な安定感を持っているといえるであろう。だが・・・それはあくまでマクロ的な視点から見た分析結果に過ぎない。

競馬が他の投資と決定的に異なる点、それは『本当の意味でのミクロ的分析』が競馬では得られないということである。先の株式の例では「A社」という、まさに投資対象そのものを分析することが出来ると述べた。では、競馬はどうであろう？いくら『単勝1番人気』といっても、掘り下げて見てみれば同じ『単勝1番人気』でも、その姿はレースによって全く異なってくる。圧倒的な1番人気もあれば、押し出された1番人気もいる。メンバーだって恵まれたレースもあれば、力が拮抗したレースもある。もちろん、例えオッズやメンバーが全く同じレースがあったとしても、それが毎回同じレース展開になるわけでもない。当たり前のことだが、当然これらの要素が異なってくれば自ずと結果は違ってくる。そして、皮肉なことにこれらに対応すべく、より条件を細分化していけば、それは母数の低下に繋がり、統計データの信頼性の低下に繋がってしまう。

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

このように、競馬とは他の投資に比べて圧倒的に『不確定要素』が強い投資種目である。そして競馬における出現率とは、これら千差万別の結果を一括りにしているに過ぎない。いうなれば単勝1番人気の出現率34.6%も、このような全く異なる傾向をまとめた数値でしかないのである。

さて、ここまで述べるとみなさんの中にも当たり前のように次のような考えが浮かんでくるのではないだろうか？

『どんなに不確定要素が多かろうが、全体の出現率が安定しているならば、たいした問題ではないのではないか？』と。

この理論には、一見すると正当性がある。例え、どんなに不確定要素が多かろうが最終的に出現率がわかっているならば、十分投資対象として成り得るであろうと考えるのは、ある意味自然な発想だ。では、そこであなたに聞きたい。

『何故、あなたは従来の統計学に基づいた投資法で十分に投資と成り得るはずなのに、本書を手に入れたのか？』と。

その、ほとんどの答えはこうではないか。「競馬にはイレギュラーがあるから、従来の投資法ではパンクする」と。そう、このイレギュラーという存在こそが従来の競馬の問題点なのである。そして、このイレギュラーが生じる原因には、先程述べた「不確定要素の多さ」というものが、大きく関係しているのである。

Produced by 鮫久

禁断

門外不出の業界最高峰マニュアル

PRESIDENT

統計とは、ご存知の通りある一定期間をもって収束する特性を持ち合わせている。これは、競馬に限らず全ての統計学が持っている有名な特徴なので、みなさんもすでに周知の事ではないだろうか。だが、一方で統計学は、一つだけ厄介な特徴も持ち合わせている。それが『**収束期間**』というものである。当たり前だが、例えば出現率50%というものは、「必ず2回に1回出現する」という意味ではない。あくまで、**ある一定期間のくせものスパンで見れば2回に1回の割合で出現する**という意味である。

ここでの曲者が『**ある一定期間**』である。実は、これが長期に渡るのか、短期で収束するのか？によって、投資というものは大きく左右される。例えば出現率20%の馬券がある。それが必ず1日で収束するのならば、それは素晴らしい投資法に成り得るし、逆に3年も4年もかかって収束するのであれば、それは全く使い道がない投資法になってしまう。これが問題なのである。「**収束期間が長い**」、それはつまり「**イレギュラーが発生する可能性が高い**」という事に直結する。従来の競馬でも、結局はこの「不確定要素」を、マクロ的な統計学に組み込む事によって投資法の開発を行っていたので、どうしても「イレギュラー」という事態が多発してしまっていたのである。では、それを回避するにはどうすれば良いのか？

ここから先が、『**PRESIDENT**』の真骨頂である。何故、従来の投資競馬には、イレギュラーが存在してしまったのか？それはデータの分析にあたって、余りにも一つの解答を求めすぎてしまったからである。競馬で儲ける為に必要なことは、たった1頭の勝ち馬を導き出すことではない。それでは、従来と同じようにイレギュラーに怯える投資法が出来てしまう。また、細分化して投資を実践すれば、母数の減少により投資法の精度を落としてしまう事になる。では最も効率よく馬券を的中させるためにはどうすればよいか？それが『**3着までに入る馬を軸に沿って分析する**』という事なのである。

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT 門外不出の業界最高峰マニュアル

そのためには十分な母数を確保した統計データの分析が必要になる。そしてこれこそが、本書で明かされる『IN3（スリー）理論』である。

第2章 IN3理論を活用せよ！！

「PRESIDENT」で用いる『IN3理論』。それは予想でもなく、人気・オッズレンジを使った従来の投資法でもない。その数10万にも及ぶ膨大なサンプルを用いて生み出された、史上最大の法則である。これは従来の投資法の平均サンプル数が1万前後という事を考えても、この開発にかけた労力というモノが、伝わるのではないだろうか。しかし・・・この統計学の最も優れた点は、何も統計データの母数の数ではない。本投資法が、最も優れている点、それはひとえに「配当問わず3連複が約5割の確率で的中する」という類稀なる高精度である。

では一体、何故『PRESIDENT』では、このように少ない購入点数で、ここまでの的中率を誇れるのであろうか？その秘密は、この統計学の極めて画期的な購入馬券決定方法にある。『PRESIDENT』では、従来の投資法のように統計データから直接購入馬券を導き出すのではなく、大きく分けて3つのプロセスを経て購入馬券を決定していく。その手順は下記の通りである。

- | |
|---------------------------|
| 手順1：『収束補正值』によるデータ補正 |
| 手順2：3着以内馬選択による複勝率90%超馬の選出 |
| 手順3：『連結複勝対照術』による連対出現馬の選出 |

以上が『IN3理論』を実践するに当たっての必要手順である。本書では、投資の際の手間を省く為に、手順1～3の作業は既に関目購入表に反映させてあるので、各自が本選出・補正を行う必要は無く詳細を理解せずとも投資を実践できる形に仕上がってはいる。

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

だが、継続して投資を実践する際には、その投資法の仕組みを理解しておくことは大切な要因となってくる。そこで、次ページより簡単ではあるが、各手順の説明を行っていくので、しっかりと本投資法の骨組みを理解していただきたい。

手順1：『収束補正值』によるデータ補正

まず、最初に行うのは既存の統計データを、ターゲットとなる舞台に合わせてデータを補正することである。本投資法では、従来の投資法と異なり、「関東」「関西」では、全く異なるアプローチ法を用いて補正を行っていく。何故ならば、同じ競馬場であっても関東・関西では、全体で見た出現率はともかくとして、細かいミクロの視点で分析を行った場合には、それぞれの馬場では全く異なる傾向が見て取れるからである。

従って、本投資法ではこういった事が原因となって発生する「イレギュラー」を極力防ぐために、出来るだけ『不確定要素』を削減しなければならない。そのために12パターンにも及ぶ『収束補正值』によってそれぞれ適した補正を行ってから、投資を実践する。本マニュアルで掲載している「関東」「関西」の『馬券購入方法』も、この12パターンからなる『収束補正值』の一部を利用している。本書マニュアルを使用した実践の際には、特にこれらのパターン表を用いなくても実践できる様、数値は馬券購入表に反映させてあるが、そのイメージだけはしっかりと頭に残しておいて貰った方が良いでしょう。

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

手順 2 : 3 着以内馬選択による複勝率 90% 超馬の選出

統計データの補正が終了すれば、次は投資の核となる軸馬を選別することになる。といっても、ここで導き出す馬は 1 頭では無い。対象となっている 1 レースに対し、3 着以内に入賞する可能性が高い複数頭を選び出す。何故複数頭か？そこには明確な回答がある。従来の投資競馬が抱えていた問題、それはマクロ的分析ではイレギュラーが多発してしまい、逆に、ミクロ的な分析を行えば、統計母数の減少によりその投資法自体の精度が疑わしくなってしまうことである。

しかし、3 着以内馬選択ではあえて対象馬の選出枠を 1 頭では無く、複数頭へ広げることによって、**統計母数を減らす事無く、ミクロ的分析を可能にする**のである。この手法を用いることによって、10 万を超える圧倒的な分析データを、単純なマクロ分析だけではなく、細部まで行き届くミクロ分析までしっかりと反映させることが出来るのである。もちろん、本書に記載されている馬券購入表には、この手順もしっかりと反映されているので、特に細かい分析方法は知らなくても良いが、概要だけはしっかりと理解して頂きたい。

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

手順3：『連結複勝対照術』による連対出現馬の選出

手順2までで、統計データを用いて各レースの軸馬までは選別できた。しかし現在のままでは、3連複BOXをそのまま購入しても購入点数はかなりの数にのぼる。そこで登場するのが、最後の選馬法『連結複勝対照表』である。そして、これこそが投資法『IN3（スリー）理論』が最も優れた理論である理由と言っても過言ではないであろう。

『連結複勝対照術』とは、従来の投資競馬では全く考えられもしなかった、「連動性」を主軸に開発された投資法である。つまり、今までの投資競馬は統計データを用いて「上位」に来る確率の高い馬を導き出して、ボックス買いや流し馬券を購入するパターンがほとんどであったが、この「連結複勝対照術」では、単純に「選んだ軸馬が連対した場合に、どの馬が相手として来るのか？」という事を最優先事項として捉え、必然的に的中馬券を導き出す手法である。

これは本マニュアルで初めて公開される理論なので、イメージするのは大変難しいかもしれないが、簡単なイメージ例としてはサイコロを思い浮かべてくれれば良い。サイコロの各目の出現率は「6分の1」である。適当に振って「1」が出る確率は6分の1であり「2」が出る確率も6分の1。これが従来の出現率である。

だがサイコロにはもう一つだけ裏の顔がある。それは、サイコロの両面（表と裏）の合計は「7」であるということだ。つまり、仮にサイコロを振って出た目が「6」であればその裏は「1」だし、出た目が「4」であれば、その裏は絶対に「3」である。そしてこのような「絶対」は、サイコロに限らず、統計データを用いた分析においては、至るところに存在している。

「連結複勝対照術」とは、膨大なデータの中から選ばれた軸馬に対する「絶対」のデータを導き出し、組み合わせたものである。

Produced by 鮫久

禁断 門外不出の業界最高峰マニュアル PRESIDENT

この新たな開発によって、投資競馬は従来では想像も付かなかった3連複ボックスでの全く新しい3連複馬券購入方法『PRESIDENT』が誕生したのである。本マニュアルの活用の際には、今申し上げた3つの手順は全て馬券購入表に反映してあるので、実際に皆様がこれらの作業を実践する必要は無いが、その過程はしっかりと頭に叩き込んで投資を実践して頂きたい。

これが、本マニュアル『PRESIDENT』の全てである。

本マニュアルは、この業界の中でも最高峰に値する情報提供マニュアルである。各担当者は、「最高の情報を提供している」という自覚を持ち、ミス無く購入馬券を導き出して確実に会員様へお届けする事を義務付ける。以上で無料レポートを終了とする。皆様の参考になったであろうか？

それでは最後に皆様の参考になるよういくつか実践結果を掲載しておこう。尚、投資見送りとなったレースは記載から省かせて頂いたのでご了承を頂きたい。また最初に関東、次に関西の結果を掲載しておく。

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

	日付	回	開催	レース	頭数	3連複	結果
2008年	1月5日	1	中山	1R	16	10600	的中
2008年	1月5日	1	中山	4R	16	13300	的中
2008年	1月5日	1	中山	7R	16	6880	
2008年	1月5日	1	中山	10R	16	7230	的中
2008年	1月5日	1	中山	12R	16	69080	
2008年	1月6日	1	中山	2R	16	3430	的中
2008年	1月6日	1	中山	3R	16	7500	
2008年	1月6日	1	中山	4R	15	538700	的中
2008年	1月6日	1	中山	6R	14	4420	
2008年	1月6日	1	中山	8R	14	33660	的中
2008年	1月12日	1	中山	2R	16	2080	的中
2008年	1月12日	1	中山	3R	16	1940	
2008年	1月12日	1	中山	5R	15	44460	
2008年	1月12日	1	中山	6R	16	9420	的中
2008年	1月13日	1	中山	2R	16	1330	的中
2008年	1月13日	1	中山	5R	16	890	的中
2008年	1月13日	1	中山	7R	16	16190	的中
2008年	1月13日	1	中山	9R	16	5520	的中
2008年	1月19日	1	中山	3R	16	77210	
2008年	1月19日	1	中山	4R	16	4760	
2008年	1月19日	1	中山	5R	16	1360	
2008年	1月19日	1	中山	6R	16	60130	的中
2008年	1月20日	1	中山	5R	16	2080	的中
2008年	1月20日	1	中山	9R	16	1490	的中
2008年	1月20日	1	中山	11R	16	12800	的中
2008年	1月26日	1	中山	2R	16	5240	的中
2008年	1月26日	1	中山	3R	16	401660	
2008年	1月26日	1	中山	7R	16	10620	的中
2008年	1月26日	1	中山	10R	16	27850	的中
2008年	1月26日	1	中山	12R	15	11490	的中
2008年	1月27日	1	中山	1R	12	22410	的中
2008年	1月27日	1	中山	4R	12	21570	
2008年	1月27日	1	中山	7R	16	71240	
2008年	1月27日	1	中山	8R	16	6330	的中
2008年	1月27日	1	中山	9R	16	9710	

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

	日付	回	開催	レース	頭数	3連複	結果
2008年	2月2日	1	東京	8R	16	14540	的中
2008年	2月2日	1	東京	9R	12	86830	的中
2008年	2月2日	1	東京	11R	16	514280	
2008年	2月3日	1	東京	1R	15	14810	的中
2008年	2月3日	1	東京	2R	15	18740	的中
2008年	2月3日	1	東京	5R	15	1990	的中
2008年	2月3日	1	東京	6R	16	4010	的中
2008年	2月9日	1	東京	1R	16	13330	的中
2008年	2月9日	1	東京	4R	16	55940	
2008年	2月9日	1	東京	5R	16	10860	
2008年	2月9日	1	東京	10R	16	3590	的中
2008年	2月9日	1	東京	12R	16	3070	的中

【関東結果(2005年以降)】

TOTAL 的中率56.2%

回収率570.4%

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

	日付	回	開催	レース	頭数	3連複	結果
2008年	1月5日	1	京都	2R	16	4100	
2008年	1月5日	1	京都	3R	15	810	
2008年	1月5日	1	京都	6R	16	25820	
2008年	1月5日	1	京都	8R	16	16510	的中
2008年	1月5日	1	京都	10R	13	710	
2008年	1月5日	1	京都	12R	16	22760	
2008年	1月6日	1	京都	2R	16	15830	
2008年	1月6日	1	京都	5R	16	5170	
2008年	1月6日	1	京都	6R	13	73090	
2008年	1月6日	1	京都	8R	16	28900	的中
2008年	1月6日	1	京都	9R	14	270	的中
2008年	1月12日	1	京都	3R	16	39220	的中
2008年	1月12日	1	京都	4R	16	389220	
2008年	1月12日	1	京都	7R	15	2840	
2008年	1月12日	1	京都	8R	16	2260	的中
2008年	1月12日	1	京都	9R	16	1640	的中
2008年	1月13日	1	京都	4R	14	670	
2008年	1月19日	1	京都	5R	15	22490	
2008年	1月19日	1	京都	7R	16	16120	的中
2008年	1月19日	1	京都	8R	14	11660	
2008年	1月20日	1	京都	1R	12	3120	的中
2008年	1月20日	1	京都	5R	16	14710	的中
2008年	1月20日	1	京都	7R	10	21470	的中
2008年	1月20日	1	京都	10R	16	106090	
2008年	1月26日	1	京都	4R	14	2440	
2008年	1月26日	1	京都	6R	15	2470	
2008年	1月26日	1	京都	9R	9	1040	
2008年	1月26日	1	京都	12R	16	23530	
2008年	1月27日	1	京都	2R	14	14700	的中
2008年	1月27日	1	京都	4R	14	2020	的中
2008年	1月27日	1	京都	8R	16	1370	的中
2008年	1月27日	1	京都	11R	16	6830	

Produced by 鮫久

禁断 PRESIDENT

門外不出の業界最高峰マニュアル

	日付	回	開催	レース	頭数	3連複	結果
2008年	2月2日	2	京都	3R	11	3150	
2008年	2月2日	2	京都	10R	16	118900	
2008年	2月3日	2	京都	1R	11	17730	
2008年	2月3日	2	京都	3R	12	4990	的中
2008年	2月3日	2	京都	7R	14	3490	的中
2008年	2月3日	2	京都	8R	13	30560	
2008年	2月3日	2	京都	11R	13	13550	的中
2008年	2月10日	2	京都	2R	16	2950	的中
2008年	2月10日	2	京都	3R	16	4800	的中
2008年	2月10日	2	京都	5R	16	17120	
2008年	2月10日	2	京都	12R	16	7330	的中
2008年	2月11日	2	京都	3R	16	23750	的中
2008年	2月11日	2	京都	5R	16	8750	
2008年	2月11日	2	京都	6R	15	26410	
2008年	2月11日	2	京都	12R	14	1320	的中

【関西結果(2005年以降)】

TOTAL 的中率54.7%

回収率479.1%

Produced by 鮫久